

(関係箇所抜粋)
はつかいち未来ビジョン2035 (案)
(廿日市市総合計画 基本構想)

ちょうどいい、みつけた。

廿日市市

はつかいちし

第 3 部 基本構想

1 まちづくりの基本理念

本計画全体に浸透させるまちづくりの理念を「市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり」とし、すべての市民が日々の暮らしに幸せを感じ、明日に希望を持つことができるまちづくりを進めます。

市民一人ひとりがともに 幸せに暮らせるまちづくり

価値観が多様化し、社会情勢が大きく変化する現在において、市民一人ひとりが自分らしく幸福な生活を送るためには、心身の健康と社会的環境が整い、地域内外で広範囲につながり、支え合い、それぞれが持てる力を存分に発揮し活躍できるまちをつくることが重要です。

「市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり」を基本理念に、現在、そして将来の市民が、いつまでも住み続けたい、住んでみたい、まちを目指します。

また、すべての人々の人権が互いに尊重される平和な社会を実現するため、「平和の希求」と「人権の尊重」を普遍的な理念として位置づけます。

2 まちの将来像

(1) 将来像

本計画の推進によって 2035（令和 17）年度に目指すまちの姿です。

安心に包まれワクワクが広がる 未来への挑戦を楽しむまち つなぎ つながり とともに歩む

■ 安心に包まれワクワクが広がる

「安心」は、市民が心身ともに健康で安全に快適な生活を送ることができる優しさに満ちた「安心感のあるまち」をイメージし、安心や安らぎを感じる状態を「包まれ」で表現しています。

「ワクワク」は、誰もが未来に向かって「ワクワク」し、これからの暮らしに希望を持てるまちの姿をイメージし、希望が心の中でどんどん大きくなり、みんなにもその感情が伝わる様子を「広がる」で表現しています。

二つの要素が調和し、「安心」をベースに、毎日を「ワクワク」、明日は今日よりもっと良くなるという希望を持った暮らしを送ることができるまちを目指します。

■ 未来への挑戦を楽しむまち

現在は、未来を見通すことが難しい時代と言われています。その一方で様々な技術革新や新しい価値観の台頭など、見方を変えれば可能性は無限にあります。こうした可能性を活かし、これまで先人から受け継いできたこのまちを未来へつなぐための、果敢な挑戦をまち全体で行っていきます。

また、挑戦の主体は、行政、企業、市民など様々考えられますが、それぞれが挑戦を楽しむとともに、それぞれの挑戦を応援し合う風土を醸成していきたいという思いを「楽しむ」に込めています。

■ つなぎ つながり とともに歩む

これからのまちづくり（未来への挑戦）は、それぞれの主体が単独で取り組んでいでは、様々な要素が複合した課題の解決は困難です。長い歴史に育まれた文化や豊かな自然をつなぎ、廿日市市に関わりのある様々な人がつながり、互いに支え合いながら、ともに未来への挑戦に取り組んでいくという思いを込めています。

(2) 将来像の実現に向け、大切に考える方

将来像の実現に向けて、4つの「大切に考える方」を設定しました。

この考え方は、本市の特性や本市を取り巻く社会潮流、市民の意見を踏まえて、導き出したものであり、すべての施策分野に共通する重要な視点です。

① 社会変化に対応した持続可能なまちづくり

人口減少・少子高齢化や、気候変動問題など、社会情勢が変化する中であっても、希望ある未来を次世代へつなぐために、あらゆる分野において長期的な視点を持ち、自然環境と社会・経済の健全なバランスを保ちながら、持続可能性を重視したまちづくりに取り組めます。

② 安全・安心な暮らしの確保

まちづくりの根底にあるのは、市民が安全に安心して暮らせる環境です。市民の暮らしを守る体制を整え、快適に生活できる社会基盤を整備し、誰もが住みやすいまちづくりに取り組めます。

③ 多様性と包摂性のある地域社会の実現

性別、年齢、国籍、障がいの有無等にかかわらず、すべての市民が他者との違いを受け入れ、個性を尊重し合い、自分自身の可能性を最大限に発揮できるまちづくりに取り組めます。

④ 多様な主体によるまちづくり

市民、団体、企業、地域、行政など、多様な主体がそれぞれの立場を理解し、強みや個性を活かしながら、ともに支え合い、地域の課題解決に向けて協力、挑戦できるまちづくりに取り組めます。

4 施策の方向性

将来像の実現に向けた方向性を整理し、8つの施策分野と各分野の2035（令和17）年度のまちの姿を設定しました。これらの実現に向けて、基本計画で施策を体系化し、取組を推進します。

基本理念

市民一人ひとりがともに幸せに暮らせるまちづくり

まちの将来像

安心に包まれ ワクワクが広がる 未来への挑戦を楽しむまち
つなぎ つながりとともに歩む

将来像の実現に向け、大切に考える

- ① 社会変化に対応した持続可能なまちづくり
- ② 安全・安心な暮らしの確保
- ③ 多様性と包摂性のある地域社会の実現
- ④ 多様な主体によるまちづくり

将来のまちの姿と施策分野

1 こども・子育て・教育

みんなで子育てを支え、
こどもや若者の成長に喜びを感じられるまち
こどもが心身ともに健やかに成長し、自らの
可能性を信じてチャレンジ・自己実現できるまち

2 健康・福祉

つながり、支え合い、笑顔で暮らせるまち

3 安全・安心

誰もが安全に、安心して過ごせるまち

4 産業

「はつかいちらしさ」を活かし、
地域経済の好循環により発展するまち

5 生涯学習・スポーツ・文化

生涯にわたって自分らしく
心豊かに暮らせるまち
歴史や伝統文化を守り、活かし、伝えるまち

6 都市基盤

都市機能が充実し、
安全・安心で快適に暮らせるまち

7 環境

自然と社会が共生できるまち

8 地域づくり・人権・多文化共生

誰もが学び、つながり、活躍することで、
地域らしさをともに守り創れるまち
誰もが他者との違いを認め合い、
安心して暮らせるまち

5 各分野の目指す姿

1 こども・子育て・教育

2035年度のまちの姿

みんなで子育てを支え、こどもや若者の成長に喜びを感じられるまち

- こども・若者が幸せに育っています。
- 保護者が子育てに伴う喜びを感じています。

こどもが心身ともに健やかに成長し、自らの可能性を信じてチャレンジ・自己実現できるまち

- こどもが自らの可能性を信じて未来に向けて挑戦しています。

こどもを中心にまち全体に笑顔が広がっており、地域や事業者など多様な主体で子育てを支えています。また、妊娠期から子育て期まで、すべてのこどもと保護者が切れ目なく必要な子育てサービスを受けることができ、安心して子育てができる環境の中でこどもが希望を持って健やかに成長しています。加えて、こどもや若者が安心して意見を伝える多様な機会が確保され、その声が反映された施策やまちづくりが進められています。そして、多くの若者が自分の将来を明るく見通しています。

学校教育においては、地域全体でこどもの学びに関わり、一人ひとりの良さや可能性を伸ばしつつ、人生を切り拓いていくために必要な「生きる力」を育んでいます。その上で、こどもは多様性を認め合いながら他者と協働し、みんなが安心して暮らせる社会の創り手として成長しています。

これらを通じて、こどもが「ふるさと廿日市」に対する愛着と誇りを持ち、急激に変化する時代においても、廿日市で培った知識や経験を活かしつつ、心も身体も満たされた状態で健やかに暮らしています。

市民の声



【子育て】

- ✓ 廿日市市は、**子育てしやすいまち**というイメージが市民に定着しています。
- ✓ これからも子育て世帯を「**地域全体でサポートするまちづくり**を進めてほしい」という声が多くあります。

【教育】

- ✓ 学生世代からは、「**“はつかいち”らしさ**を活かした教育プログラムや地域と連携した学びを通じて、**多様な能力が求められる**今後の社会で活躍できる力を身につけたい」という声がありました。

モニタリング指標

指標	現況値	方向性
普段の生活の中で幸せな気持ちになっているこどもの割合	(未就学児) 90.3% (小学6年生) 95.0% (中学3年生) 88.7%	↗
子育てに伴う喜びを感じている保護者の割合	84.0%	↗
将来の夢や目標は、かなうと思う児童生徒の割合	75.8%	↗
努力すれば、自分もたいていのことはできると思う児童生徒の割合	88.6%	↗

2035 年度のまちの姿

生涯にわたって自分らしく心豊かに暮らせるまち

－学びやスポーツ・文化芸術を楽しむ環境が充実し、市民の誰もがいきいきと自分らしく暮らしています。

歴史や伝統文化を守り、活かし、伝えるまち

－市民が、市の歴史や伝統文化に誇りと愛着を持ち、次世代へ継承しています。

市民がともに学び、対話を重ねることを通じて、地域内に人と人のつながりが生まれるとともに、学んだことを地域社会に活かす市民が増えています。

スポーツや文化芸術に親しむことで、市民の健康づくりや生きがいにつながっています。また、活動を通じて仲間との交流が生まれ、いきいきと心豊かに暮らしを楽しんでいます。

市民が市の歴史や伝統文化に誇りや愛着を持ち、市外から訪れる人にもその価値を伝え、次世代に継承しています。宮島では、普遍的な価値を次世代に継承するため、住民や関連団体など多様な人々が活動し、伝統的な建物や暮らしの魅力を体感できる場や機会が提供されています。

市民の声



【文化】

- ✓ 廿日市市は、[文化芸術に触れる機会がたくさんあるまち](#)です。
- ✓ [文化芸術が日常生活の一部](#)として溶け込み、気軽にイベントや展覧会へ足を運んでもらえるようなまちづくりが進んでほしいという声もあります。

【伝統】

- ✓ 「神楽」など魅力的で価値のある伝統文化がたくさんありますが、[後継者不足が深刻](#)です。担い手の育成などを進めて、これまで受け継がれてきた価値を[次世代へ繋いでいく](#)ことが求められています。

モニタリング指標

指標	現況値	方向性
日頃の生活に充実感を感じている市民の割合	55.7%	↗
市の歴史や伝統文化に誇りや愛着を持っている市民の割合	43.3%	↗